
日本文化・芸術の祭典「ジャポニスム 2018：響きあう魂」

パリ市立プティ・パレ美術館で公式企画「茶の湯」を開催！ 裏千家宗家による講演会・茶会等を通じて、茶の湯の世界を紹介

2018年7月よりパリを中心にフランスで開催中の日本文化・芸術の祭典「ジャポニスム 2018：響きあう魂」。

8か月にわたってパリを盛り上げたジャポニスム 2018では、茶道事業を通じて、日本の文化のこころを追求する機会をつくります。茶の湯に関する講演会、茶会等を組み合わせて企画し、見て、聴いて、体験することを通じて、「亭主」と「客」の間に生み出される人間的なぬくもりを体感し、日本の伝統文化を代表する茶の湯の美学、茶道の精神「和敬清寂」を伝えることを目指します。

自然体のままで季節感を大切に、「もてなし」と「しつらえ」を基本にした生活文化「茶道」。

亭主となった人は、まず露地（庭園）をととのえ、茶室の中に、掛物や釜・水指・茶碗などを用意して、おもてなしの準備をする。これらはすべて日本の風土が育んできた文化的な結晶といえるものばかりで、そのため茶道は「日本の美の総合芸術」ということができます。

茶道を通して人を敬い、和みの世界と物事に動じない心を生み出していく「和敬清寂」の精神は、世界に誇る精神文化です。

招いた者（亭主）と招かれた客の心が通い合い、気持ちのよい状態が生まれる「一座建立（いちざこんりゅう）」、ただ一度の出会いを大切に「一期一会」の心で、フランスのお客様をお迎えます。

ぜひ貴媒体にてご紹介下さいますよう、何卒よろしく願いいたします。

【茶会】日仏の友好を意識した会場で1回40名の茶会を複数回開きます。

- 日時 2月23日（土）、24日（日）①14：00～ ②14：30～ ③17：00～
- 会場 パリ市立プティ・パレ美術館 南パビリオン
- 点前 裏千家パリ ほか

【講演会】茶道裏千家の伊住 禮次郎氏による、茶の湯の精神、文化的側面、美術史的側面などについての講演。

- 日時 2月23日（土）、24日（日）15：00～16：30
- 会場 パリ市立プティ・パレ美術館 オーデトリウム
- 講師 伊住 禮次郎氏（一般財団法人今日庵 茶道資料館副館長、今日庵文庫長）
- 内容

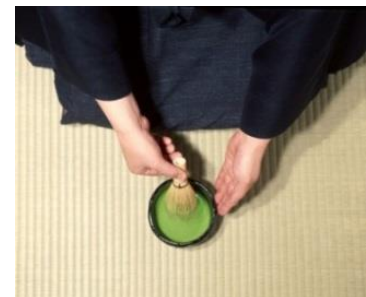
①「茶の湯を学ぶ～日本文化の入り口」

茶道とは何か。茶事の流れなどの前提から、その中で大切にされていることなど精神・思想的側面を紹介。

②「日本の喫茶文化」

喫茶文化が日本に招来してから利休の登場まで、茶道具の展開も取り上げながら文化史・美術史的側面を紹介。

- 主催 国際交流基金、裏千家、パリ市立プティ・パレ美術館



報道関係者からのお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央（070-3190-3708）、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp

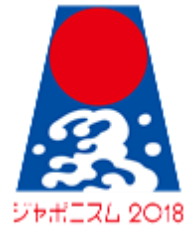
「ジャポニスム 2018：響きあう魂」とは

日仏友好160年にあたる2018年、両国政府間の合意に基づき、芸術の都フランス・パリを中心に、大規模な日本文化・芸術の祭典「ジャポニスム2018：響きあう魂」を開催中。パリ内外の100近くの会場を舞台に、約8か月間にわたり、美術展、舞台公演、映画、その他食や工芸など日本人の日常生活により密着した文化まで含め、さまざまな日本の芸術と文化を、古典から現代まで幅広く紹介しています。会期を通じ、約70の公式企画を実施。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を前に、日本文化の多様な魅力をパリに、またパリを通して世界に向けて伝えようとするものです。

会期： 2018年7月～2019年2月

事務局： 独立行政法人国際交流基金

公式ウェブサイト： <https://japonismes.org/>



報道関係者からのお問い合わせ先：

(独) 国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央 (070-3190-3708)、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp